



刺 好 激 奇 す る 心 を

撮影協力＝珈琲亭 ルアン

区長：そうですね。昔ながらの路地裏の雰囲気なども守ってまちづくりをしていきたいです。一方で、若い世代がやりたいことを実現できるような環境づくりも大切です。

はいり：この珈琲亭 ルアン⑦は老舗ながら土日には行列ができるほど若者にも人気のお店。せっかく古くからの魅力が残っているので、そこに新しい息吹を吹き込めたらいいですね。喫茶店をやりたい若い人と、譲りたい店主をマッチングするような取り組みとか、どうでしょう。

区長：銭湯でも、店主が引退する際に若い経営者が引き継いで成功している事例が区内にいくつかあります。そういった形で、まちづくりに活かしていきたいですね。

はいり：あとは、城南島にあるART FACTORY城南島⑧や、京浜急行線の高架下にあるシェア工房KOCAなどのアートを感じるスポットにも時々行きます。

区長：山口体験美術館や2月1日に開館する馬込アートギャラリーなど、体験・鑑賞できる施設も増えています。昨今は、蒲田を舞台にした自主制作映画による地域活性化など、区民発の斬新な試みも増えていると聞いています。そうした草の根からのアイデアを、区としても応援したいですね。



住み続けたいと思えるまちへ。 「ローカルな面白さ」を次世代へ繋ぐ

はいり：大田区にはローカルな面白さがたくさんあります。これからもその良さを生かした面白みのあるまちになったらいいな。

区長：そうした魅力は、区外や外国人の方にも知ってもらい、ぜひ「もう一度来たい」と思ってもらいたいし、住んでいる方にも変わらずまちの魅力を誇りに思い続けて欲しい。四季折々の見どころも多いんです。年始には池上本門寺の初詣、春には桜坂⑨の桜、初夏には祭礼など……。地域で育まれてきた文化も大切に繋いでいくのが区の役割です。

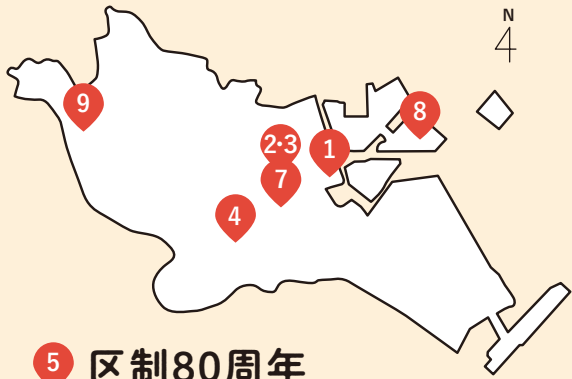
はいり：お祭りなどは、意外と知らない人もいるかもしれないですね。駅前の整備された街並みだけでなく、裏路地にあるホッとするような魅力も、より多くの人に知ってほしいです。開発が進んでも、「ここにいると安心だ」と思える場所を残してほしいです。

区長：まさにその通りです。区民の皆さんと力を合わせて、地域に根ざした文化や芸術といった方面からも魅力を発信し、皆さんが住み続けたい“わくわく”するまちになるように力を入れていきます。

はいり：区長のお話を聞いて、地場から湧き出てきたエネルギーをしっかりと未来に繋ごうとしてくださっていることがわかり、とても心強いです。ぜひ、よろしくお願いします！

各スポットを巡る散歩コースを4面で紹介！

発見！ 大田区MAP



5 区制80周年

昭和22(1947)年3月15日に大森区と蒲田区が合併して誕生した大田区。令和6年に、大田区のめざすべき将来像を掲げた新たな大田区基本構想を策定しました。令和9(2027)年3月に区制80周年を迎えます。

6 銭湯

都内最多の銭湯数を誇る大田区。現在は33軒が営業。黒褐色の「黒湯」と呼ばれる温泉が多くの銭湯で楽しみ、区民の憩いの場となっています。



7 珈琲亭 ルアン

大森駅徒歩3分、レトロな香り漂う純喫茶。はいりさんの行きつけのお店で、よく映画仲間と語り合うそう。ドラマや映画のロケ地としても有名で、連日多くの方が訪れます。



8 ART FACTORY城南島

城南島にある約3,000平米の倉庫をリノベーションした、都内最大級のアート施設。鑑賞スペースやスタジオがあり、ユニークなアート体験ができます。

9 桜坂

沼部駅徒歩約5分。桜並木が約100m続く坂道は、桜のスポットとして親しまれています。

